

土用の丑の日と「うなぎのかば焼き」



- 家計調査（二人以上の世帯）結果より -



今夏の「土用の丑の日」は7月29日です。「土用の丑の日」にうなぎを食べるようになった由来は諸説ありますが、江戸時代の蘭学者「平賀源内」が、売り上げが伸びず困っていたうなぎ屋のために「本日、土用の丑の日」と店頭を書いて貼り出したところ繁盛した、という話は有名です。現在では、ご存じのように、夏バテ防止食材として栄養豊富なうなぎを食べることが定着しています。

ここ数年、うなぎの取引価格は上昇していましたが、今年ほうなぎの稚魚の漁獲量が回復したことなどから、スーパーなどの店頭でも昨年より1～2割程度安くなるだろうと報道されています。そこで今回は、家計調査の結果から「うなぎのかば焼き」の支出を見てみましょう。

丑の日に増える「うなぎのかば焼き」への支出金額

平成25年7月の「うなぎのかば焼き」への1世帯当たりの支出金額を日別に見てみると、土用の丑の日にあたる22日が301円と圧倒的に多くなっています。さらに、20日(土)、21日(日)を含めると、この3日間だけで480円と、7月全体の支出金額(897円)の53.5%を占めています。また、7月の支出金額は年間(2,146円)の41.8%を占めており、他の月(平均5.3%)よりも圧倒的に多くなっています。

図 「うなぎのかば焼き」への1世帯当たりの日別支出金額（平成25年7月）

